

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

事業名 地域子育て支援推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課 子育て支援係

電話番号：058-272-1111 (内 2680)

E-mail: c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,468 千円 (前年度予算額：2,460 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,460	0	0	0	0	0	0	0	2,460
要求額	2,468	0	0	0	0	0	0	0	2,468
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・子育てへの不安や負担感を軽減、解消するためには、身近な地域や家庭での支援が重要であり、より効果的な支援に向けては、地域で子育て支援を行う人材の確保や資質向上が必要である。
- ・このため、地域子育て支援拠点の相談員や子育て支援員研修修了者等の子育て支援業務に携わる者の資質向上を図る研修を実施していく。
- ・また、県が認定した「子育てマイスター」や子育て支援の担い手となる教職員退職者に対しても、研修会受講者の募集や子育て支援事業の周知を行う。

(2) 事業内容

- 子育て支援事業従事者等研修の実施 (9回)
 - ・子育て支援従事者等の資質向上に必要な研修の実施。
- 子育てマイスター・教職員退職者等への案内及び周知の実施
 - ・子育て支援員研修及び子育て支援事業従事者研修等の受講案内や県内の子育て支援事業の周知を実施。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・子育て支援者向けの広域的な支援において県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳(単位：千円)

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル審査会構成員への謝金
旅費	11	プロポーザル審査会構成への費用弁償
需用費	51	消耗品代
役務費	257	子育てマイスター、教職員退職者等への周知
委託料	2,117	子育て支援事業従事者等研修
合計	2,468	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・総合戦略 2 健やかで安らかな地域づくり
 - ―②子どもを産み育てやすい地域づくり
- ・岐阜県少子化対策基本計画
 - ―Ⅲ 働きながら子育てしやすい環境づくり
 - ―2 安心して子どもを預けられる受け皿づくり
 - ―(3) 保育士、幼稚園教諭、放課後児童支援員等の人材の確保及び資質の向上

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
子育て支援従事者等の資質向上に必要な研修を行い、県内各地の子育て支援の充実を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
—	—	—	—	—	—	—

○指標を設定することができない場合の理由

- ・これまで実施してきた子育てマイスターの新規登録を廃止したため、目標値は定められない。

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
地域子育て支援拠点の相談員等子育て支援業務に携わる者を対象とした研修を実施した。
子育て支援事業従事者等研修会：年9回
受講者数：約470人（見込）

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
県内の子育て支援事業に携わる者を対象とした研修を実施し、多様化する子育てに関するニーズに対応できるようにするためのスキルアップを図った。
また、令和元年度に同研修を実施した際に、受講者から要望が多かった「地域で見守る子育て支援」に関する項目を特別講義として設定する等、子育て支援の現場の実状に即した研修とした。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い	
(評価) ○	育児相談や親の子育てに関するニーズも多様化しており、子育て支援者の資質向上のための支援が必要である。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	研修への参加者も多く、県内の子育て支援の充実に寄与している。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある	
(評価) ○	子育て支援事業の従事者を中心に、効率的に事業実施をしている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 子育て支援の現状を把握し、研修を継続的に実施していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 子育て支援事業従事者等研修会により、子育て支援に携わる者のスキルアップを図り、県内の子育て支援事業を充実させていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	